

1 日 時 平成30年9月19日（水）午後7時から午後9時

2 場 所 東淀川区役所 4階 401会議室

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 魅力あるまちをつくろう！部会委員）

新庄 聡美議長、中井 まひる副議長、岩本 敬子委員、乗上 永枝委員、中村 由紀美委員  
山口 啓行委員

（東淀川区区政会議 他部会委員）

村富 和広委員

（大阪府議会議員）

笹川 理議員

（東淀川区役所）

西村地域協働まちづくり担当課長、古川保健福祉課地域協働まちづくり担当課長代理、  
畠山総合企画担当課長、中島企画調整担当課長、池辺保健福祉課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）平成31年度東淀川区運営方針（原案）

（2）これまでの区政会議の主な意見について

（3）今後の区政会議について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○池辺係長 皆さん、こんばんは。

それでは、定刻となりましたので、ただいまより平成30年度東淀川区区政会議第3回魅力あるまちをつくろう！部会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、また夜間にもかかわらずご出席賜りまして、まことにありがとうございます。

本日の司会進行を務めさせていただきます東淀川区役所保健福祉課地域協働担当の池辺でございます。よろしくお願いいたします。

初めに、地域協働まちづくり担当課長の西村よりご挨拶を申し上げます。

○西村課長 地域協働まちづくり担当の西村です。

本日は何かとお忙しいところ、区政会議魅力あるまちをつくろう！部会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

8月21日に学習会を開催いたしまして、そのときのワークショップで皆さんにとってもたくさんのご意見をいただきまして、ようやく皆さんの本領発揮かなというふうな会議になったかなと思います。今回はその勢いで、さらにたくさんのご意見をいただけたらありがたいかなと思っております。

今回、平成31年度、もう来年の話になってしまうんですけれども、31年度の運営方針案について、ご意見をいただくこととなります。

また、その次は本会になるんですけれども、10月31日の本会では、いつものような部会は開催せずに、いきなり本会ということになりますので、今日はその分も含めまして、部会でのご意見をいただいて、取りまとめていきたいというようなタイトなスケジュールになっておりますので、何とぞよろしくお願いたします。

以上です。

○池辺係長 では、本日の定足数の確認をいたします。本日は5名の魅力あるまちをつくろう！部会の委員にご出席いただいております、出席者数が委員定数9名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。

また、本日、他部会より1名、委員がご出席をされています。

毎回のご案内ですが、本日の議事録につきましては、区政会議の委員の定数の基準及び会議録等の公表等に関する規則の規定に基づき、発言者ごとの氏名と、その発言内容を記載した議事録により、後日公表させていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

会議録（案）ができ次第、本日発言いただきました委員の皆様に、発言内容をご確認いただきたいと思っております。後日、文書をお送りさせていただきます。

続きまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、本日配付しています平成30年度第3回東淀川区区政会議魅力あるまちをつくろう！部会と書かれた本日の議事次第がありますでしょうか。

以下、資料の確認は、この議事次第の配付資料の欄を見ながら確認させていただきます。

次ですが、この議事次第の裏に、平成30年度東淀川区区政会議魅力あるまちをつくろう！部会の出席者名簿及び配席図がございます。

続きまして、送付資料1、平成31年度東淀川区運営方針（原案）、送付資料2、ワークショップ用シート、送付資料3、これまでの意見へのフィードバック、同じく送付資料3の中で、平成29年度運営方針への区政会議の評価結果、会議事概要（7月27日本回）、区政会議スケジュール、東淀川区区政会議部会別委員名簿。

あと、当日の配付資料としまして、1番目で、共通テーマ（防災）と書かれた薄い黄色の用

紙ですね。あと、当日配付資料2としまして、8月21日にありました部会の学習会の議事概要となっております。

資料で不足している方とかはございませんでしょうか。

それでは、ここから新庄議長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○新庄議長　こんばんは。議長の新庄です。よろしくお願いいたします。

先ほど課長から少しお話がありましたが、10月31日は部会を開催せず、本会を19時から2時間開催する予定です。本会では、共通テーマ「防災」について、部会の垣根を越えて、くじで割り振られた班でワークショップで意見交換をしていただく予定です。

そのため、本日は議題（1）平成31年度東淀川区運営方針原案について、区役所から説明を受けた後、ワークショップを実施し、意見交換し、休会明けに発表し、さらに本会で議長報告する内容として、その中で特に重要と思われる意見についてピックアップしてまいります。

それでは、早速、議題に入ります。

議題（1）平成31年度東淀川区運営方針原案について、議題（2）これまでの区政会議の主な意見について、区役所より説明をお願いします。

○西村課長　地域協働まちづくり担当課長の西村です。私から説明させていただきます。

まず、送付資料1、平成31年度運営方針の原案をごらんください。

表にみのりちゃんが走っている絵があるんですけども、一番左側はちょっと濃くなっています、原案というところ、これが本日やるところでございまして、平成31年度運営方針は、この後、原案から素案、案、そして完成に向けてということで、だんだんと議論を進めていって、中身をつくっていきこうということで、きょうは、一番最初の原案というところになります。

1枚めくっていただきまして、字がたくさんあるんですけども、経営課題の1について、簡単に説明させていただきます。

めざすべき将来像とか将来ビジョンにつきましては、これは5年間の目標ということで将来ビジョンを決めましたので、その中身については、変更ありません。

現状と課題です。

まず、自助・共助を担う地域力のあるまちということで、現状ですけれども、真ん中あたり、アンケートのことが書いていますけれども、ご近所同士で声かけとかしていると感じる割合が28年度は45%だったのが、29年度は47%とちょっと増えた。それから、地域活動に参加しているということで、28年度は11.6だったのが、29年度は27.5と。それから地活協を知っているという人も、17.9から23.4ということで、少しずつ増えてきているのが現状かなと思います。

次に、その下の31年度の取り組みの方針です。1、2、3と3つの方針を挙げています。

1つは、地活協を中心とした地域活動を支援するよということで、地活協に今、財政的な支援とか、あと透明性とかを守ってもらうようにということで、いろいろな支援をさせてもう

ているところです。また、私どもの課には、地域づくりアドバイザーという人が3人おりますので、この人たちがいろんなアドバイスをして、サポートすると。そのほか、地活協をもっと知ってもらおうということで、いろいろと広報の活動もしていきますよというのを来年もしたいと思います。

それから2つ目が、地域担当制による協働のまちづくりということで、職員が3人チームになって、それぞれ17の地域について担当していくということで、特に今年度からは避難所開設ができるように、と。具体的に何かができるような役割を担って、地域に入っていこうということで始めております。もう早速、これだけ災害が起こってしまっていますので、我々地域担当もどんどん鍛えられていって、実践モードに入っているかなと思います。

それから3つ目が、地域保健福祉計画ということで、これも保健福祉計画というのは、自助・共助・公助、それぞれの考え方を明確にしながら、一つずつの地域でそれを検討していただくということで、引き続き進めたいと考えております。

次に、右のページです。にぎわいのある元気なまちということで、これについて、現状ですけれども、住民しか知らない区内に埋もれているような魅力の発見をしていくようなことを通して、担い手を増やしていこうというような仕掛けづくりが大切かなということと、それから中小企業の皆さんにBCPというのがありまして、災害が起こった後、どれだけ早くもとの仕事を復活できるかということで、災害が起こる前からそれを考えておこうというものなんですけれども、それを広げていくことで、中小企業との連携をしていこうというようなことを現状と課題に挙げています。

具体的な取り組みは、1、2、3と3つありまして、1つ目は新たな担い手の発掘ということで、これも皆さんからも非常に大事ですねということでは言っているんですけども、企業とか大学を初めとする教育機関と行政が連携していって、そこに書いていますような区民まつり、それから東淀川みらいEXPO、これは今年から始めているんですけども、区に関心のある企業の方とかが集まっていたいただいて話をする中で、具体的にもう何か行動に移していこうというようなことも始まっています。

それから、東淀川区魅力発見プロジェクト。これはこの区政会議から始まったプロジェクトです。

それから、今、申しました東淀川区BCP学びの場を広げていこう、それから大学との連携をしようということです。

2番目に、まちの魅力を発信しようということで、これは主に広報的な話になっているんですけども、積極的に情報発信を、区の歴史とか名所などの資源を生かして、情報発信していこうというような取り組みです。また、大学との連携をしていくということで、今年もやりますウォーキングイベントなども入っています。

それから、3つ目に区民による整備、西部地域のまちづくりということで、東淀川区の西部地域については、今、どんどんとハード整備が進んでいっておりますが、それを総合的なまちづくりとして考えていこうかということです。「まちづくり」というのは平仮名のまちづくりで、ハードじゃなくてソフトのまちづくりを考えていくということで、協議会をつくりまして、それを支援していくと、まちづくりを支援していくということを取り組んでおります。

主な取り組みは、そのようなところです。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山です。

私のほうから、10ページ以降につきまして、送付資料1の経営課題5、区民の役に立つ区役所があるまちというところのご説明をいたします。

5-1、区民の役に立つ区役所、住民参加型の区政運営を担う職員づくりという部分につきましては、主にこの区政会議の部分を述べておりまして、現状・課題につきましては、これまでの区政会議の皆様のご意見として、資料が多過ぎであるとか、わかりにくいとか、あと、実質、部会議論だけでされていて、他部会の課題について意見が述べづらいというご意見をいただいております。これについては、今年度10月31日に本会議で横断的な議論もお願いしたいということで、取り組めるものは既に取り組んでいこうということでやらせていただいております。

31年度につきましては、これまでと同様になりますが、区民等の参画による区の特性に合った区政運営の推進ということで、これまで区の施策事業について、立案段階から区民の皆様のご意見を把握して、適宜、区政へ反映していく。直接、区政会議委員からの評価を今回は実施するというので、そういった29年度への区政の評価をこの間、30年度にお願いしたということもございます。これについては、後ほどまたご説明させていただきたいなと思っております。

それと、各専門部会についても、部会別の会議を適宜開催していこうと。区政会議委員を通じた、地域との連携も深めることで、地域に根差した会議運営も推進していこうということでございます。

続きまして、2番目に、広聴相談・総合窓口機能の充実というところでは、区広聴・広報戦略に基づいて、広聴の強化・分析の取り組みを充実させることで、区民の声を区政に生かしていこうということで、市民の声に対しての迅速・確実な回答であるとか、事業改善等を図ったものについては、積極的に広報していこうということを述べてございます。

次に、5-2、伝えて、行動につなげる情報発信力の強化ということで、これまで区政会議でも情報発信が重要だということが言われております。その部分について、この項で目標立てをしております。具体的取り組みの項目といたしまして、区民が必要とする情報発信の強化ということで、広報紙や各種通知の同封ビラ等の作成にあたりましては、ホームページのアクセス状況など、広聴及び過去の広報の分析を行って、改善につなげていこうということでござい

ます。

続きまして、行動につなげる情報発信力の強化というところでは、これまでと同様に、広報紙、ホームページ、SNS、広報板等で情報発信していくというところで、この間、災害時にSNSの情報発信の優位性ということが立証された部分もございます。これがなお、高まっていくということで、平時からのSNSのフォロワーの募集なり、積極的な投稿も行ってまいりたいと考えております。

発信する情報につきましては、行動につなげることができたかということについて、検証もしっかり行っていきたいと考えてございます。

続きまして、5-3の快適・迅速・確実な窓口サービスというところで、なかなかこの部分につきましては、ご意見をいただけなかった部分もありますけれども、唯一、この学習会の魅力あるまちをつくろう！部会の第1回の学習会の部分で、送付資料3の7番目の項目になります。受託者の満足度96%は高過ぎるのではないかと。実際に窓口の対応がよくないと感じている人が身近におりますよというご意見もいただいております。これにつきましては、取り組みといたしましては、心地よい窓口サービスの提供や利便性の向上ということで、マイナンバーカード利用促進によるコンビニ交付の啓発とかいうことで、混雑時の区役所以外での拠点への誘導により、来庁者の集中を防ぐ取り組みであるとか、窓口サインの統一などによる窓口でのわかりやすさの向上なども図ってまいりたいと考えております。

それと、2番目に、民間活用、ICTを活用した窓口サービスの向上というところでは、委託業者と連携の上、各手続の処理時間や苦情内容の分析を行いまして、問題を洗い出して、情報共有することで共通認識を持って、課題解決のために必要な対策をとり、効率的な運用を目指してまいりたいと考えております。

続きまして、最後の12ページですが、5-4、区民の役に立つ区役所を担う職員づくりというところでは、現状・課題、かなり数字が出ておまして、悪い数字もございます。ただ、区役所の格づけ結果につきましては、28年度の星2つを29年度も持続できたというところは、この数字の中におきましては、ある程度の結果が出たのかなというところですが、これに甘んじることなく、31年度の取り組みといたしまして、着実、確実な事務処理、コンプライアンスの確保等の取り組み、さらには効果的な施策を企画・立案・実行する主体性、チャレンジ意識を持った職員づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

私のほうからは以上でございます。

○西村課長 引き続き、地域協働担当課長の西村から説明させていただきます。

ちょっと最初に言うのを忘れていたんですけども、ピンク色の紙を皆さんのところにお配りしておると思います。これが今日の議論に使う紙なんですけれども、今、私どもが説明していることにつきまして、現状と課題や、こんなんもってこんな現状あるん違うとか、思いつい

たことをメモしていただいで、また、具体的な取り組みとかでも、こんな取り組みもあるのではとか、そんなことを考えていただければと思います。

ということで、もうちょっと説明させていただきます。

送付資料3で、これまでの意見へのフィードバックというのがございます。今までに出していただきました意見につきましては、前々回の区政会議本会のほうでも見ていただいております。どの項目が大事なかなということで見ていただいているものでございます。右から2つ目の欄に、①とか数字が書いていますけれども、①と書いているものは、30年度においてもう既に対応しているよというものでございます。それで、この部会では、特に1番目の地活協のPRとか、それから次のページの区民まつりとか、新たな担い手の発掘、この辺が大事なん違うかなということでご意見をいただいているところかと思えます。

区役所がつくっているものばかり見ている、なかなか立体的に物が見にくいと思えますので、前回、皆さんから大変いろんな意見をいただいておりますので、そののところももうちょっと復習したいと思います。

当日配付資料2というのをごらんいただけますでしょうか。

前回、こんな議論をしました。議題2のところ、新たな担い手の発掘について、これが大事だよということで、「こんな東淀川区だったらHAPPY!」というような命題で、もっとおもしろいことを、本気のことをしたら人が集まるん違うとか、得意なことが発揮できるまちがいいまちじゃないとかいうことを言っていました。

それから、1枚めくっていただきまして、じゃ、なぜ地域活動に参加しにくいのかという黒丸ですね。こここのところ課題というのが出ていまして、不安感というのがあるんじゃないかなと。しんどそう、大変そう、引き込まれそうみたいな不安感があると。それから、情報がないのではと、広報が下手くそなん違うという、この辺が課題じゃないかなというご意見をいただいています。

それから、3つ目の黒丸です。〇〇だったら、進んで地域活動などに参加したくなるということで、じゃ、どんなことをしていったらいいのかなということで、例えば最初のきっかけは、仲よし同士の声かけかなとか、それから地域のイベントを一生懸命伝えようという気持ちが大事なん違うかな、それから下から3つ目、名物なんかをつくったらどうかな、というようなこともいただきました。

次のページに、東淀川区のキャッチコピーということで、皆さんからキャッチコピーを出してもらいました。「ひがしよどがWAKUWAKU!」とか、「人が集まるヒガヨドCITY」とか、「豊里は〇〇ができる」なんていう、こんないろいろとユニークなものを出して、あと、「ほっこりほうしん」、これもおもしろかったですね。こういうような意見を出してもらっています。

このような、皆さんに自由に出していただいた意見が、果たしてこのワークショップ用の

シートはどこかに当てはまっているのかな、当てはまっていないのかな、もっとこれを入れていきたいというような視点から、今日のご議論いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○新庄議長 ありがとうございます。

では、ただいまご説明いただいた送付資料3を踏まえまして、皆様からご意見を賜りたいと存じます。

内容について、より活発に議論いただくために、一旦部会を休会し、ワークショップによる意見交換をしていただきたいと思います。

○西村課長 すみません、もう一つ、資料の説明を忘れていました。ごめんなさい。

送付資料3の9ページの説明をちょっと怠っていました。ごめんなさい、ちょっと見ていただけますでしょうか。

東淀川区の区政会議の委員評価シートの集計ということで、皆さんのほうからアンケートでご意見をいただきましたものを集計させていただいております。

まず、各経営課題において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますかということで、議論したことが将来像の実現にちゃんとつながっているかなということで、皆さんから評価をいただきました。

経営課題の1ですけれども、3.1ということで、4点満点の3.1という点をいただいています。

それから、経営課題の5、区政運営と広聴・広報の関係ですが、これが3.1、それから区役所力の強化というところでは、少し高い点、これが一番高い点です、3.3というような評価をいただいているところでございます。

それから、1枚めくっていただきまして、具体的にどんなご意見をいただいたかなということで、経営課題1のところをちょっと見ていきますと、有効であったと思うという人は、情報の発信ができていたりとか、連携・協働が進んでいるというようなご意見なんですけれども、逆に次のページ、12ページで、あまり思わないというご意見をいただきまして、この辺が課題につながってくるのかなと思うんですけれども、いまだに自助と公助、自助から公助になって、共助が欠落しているような町会長等が多数存在しているんじゃないかと。それから、地域のリーダーをどのように育てるかが課題じゃないかと。それから、自助・共助の大切さが理解できていないんじゃないか。また、新たな担い手を発掘する戦略とか、まだ効果が出てきていないのではないかなというような、このような厳しいご意見をいただいています。

この辺も皆さんのご意見としてどうなのかなと。新たな課題として、また運営方針に入れていったほうがいいのかということもご検討いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○新庄議長 ありがとうございます。



では、ただいまより送付資料2、ワークショップ用シートを使って進めてまいります。ワークショップでは、議論されたご意見ややりとりをまとめ、区政会議再開後、発表していただきますので、よろしくお願いいたします。

職員の方にはサポートいただきます。

それでは、ここで区政会議魅力あるまちをつくろう！部会は、一旦休会とさせていただきます。8時に再開いたします。

～休 会～

#### 【休会中の主な意見】

- ・災害時だけでなく災害後にも共助の重要性を感じる場面が多かった。（飛来物の片づけが必要、避難所開設やブルーシートの配布などの情報発信・共有、一人暮らしの高齢者への声掛け）
- ・町会費を払っているかどうかで地域の仲間であるかというくくりを感じられる。町会に入っていない人に情報が行き届いていないため、その隔たりを解消したい。
- ・給与をもらって主軸で働く人が必要であるが、NPO法人の地活協があっても面白い。
- ・情報発信については、対象によって有効な手段や場面が変わってくるが、災害時はインターネットやSNS（特にTwitter）が有効であったので、高齢者に高齢者が集まる場でスマホ導入支援（操作研修や災害時用のアプリを入れる）をしてはどうか。
- ・地域の魅力を発信する場として、区民まつりで団体別にブースを出すだけでなく、町会別に取り組んではどうか。
- ・今年度は雨で中止であり大変残念であったが、中止の判断がもう少し早い方がよかった。
- ・舞台に出演予定だった人達には練習の成果発表の場として、雨天時は区民ホールで舞台の発表ができるようにしてはどうか。

～休会明け～

○新庄議長 それでは、区政会議を再開いたします。

皆さんから出された意見はたくさんございます。それで、この本会で議長として報告する案件としまして、今、まとめさせてもらった3点、1-1、向こう3軒両隣の再構築ということで、企業の参加、それから大学・学生を含めた、それが自助・共助につながるということ。

それから、1-2、つながる・広がるインターネットの活用ですね。SNS情報力、発信力ということですね。

3点目が、各地域の魅力が発信できるイコールまた区民まつりに生かされていくというところ、この3点を中心に報告させていただきたく存じます。

区役所よりご意見や補足、それから31年度事業に反映できるような部分がありましたら、対応方針などをご説明いただけますでしょうか。

○西村課長 地域協働担当の西村です。

ちょっと難しい話になってきたんですけれども、今回、特に災害があったことで、防災のほうの意識が高まっているんですけれども、この経営課題の1というのは、全体を取りまとめていくような中身になっていると思うんです。地域の力が大事だというのが、これは防災にもつながりますし、子育てにもつながりますし、また福祉にもつながっていくということで、見方を変えたら、人間って社会的な動物なんです。助け合わなければ生きていけない動物なんです。それが地域振興会や地域活動協議会を超えて、やっぱりつながりづくりをどうつくっていくかというのがすごく大事なところなので、その方法はいろいろあると思うんですけれども、どうやってこのつながりをつくって、地域の皆さんが助け合って生きていけるか、これが一番暮らしていく中で大事なことだと思いますので、それを1-1のこの課題の中で生かしていきたいと思います。

その中で、やっぱり情報発信というのは、すごく大事なことで、伝わらないとだめだと。これもつながっていれば、かなり情報は伝わるんですよ。今、区民まつりとかって、中止になったって情報はすぐに伝えなアカン、これはすごく難しい話なんです。特に、高齢者の方にとって。ただ、ふだんから高齢の方で、お一人暮らしの方で、もう苦勞して生活しておられる方に、こういう方法がありますよ、こんな福祉がありますよ、ここに行ったらみんな集まっていますよというふうな情報を伝えていくような情報発信というのがすごく大事なんで、それを地域の中でどうつくっていくとか、そういうテーマでこの経営課題1の中をまとめていければなというように思います。

○新庄議長 ありがとうございます。

○畠山課長 それと、ちょっと追加です。総合企画担当課長の畠山です。

先ほど情報発信の部分も触れられましたので、これにつきましては、経営課題5の部分になるかと思います。これにつきましては、ここには先ほどもワークショップの中でご指摘もいただいておりますが、ツイッターとか、その辺の部分につきましては、SNSという表現でまとめさせていただいておりますけれども、素案の際には細かい表記も含めてやらさせていただきますので、よろしくをお願いします。

この間の災害のツイッターなり、LINEなりの情報を流したところ、やはりアクセス数がかなりあったということで、当初、私どもが予定していましたアクセス数も超えておる状態になっています。ですので、それだけやっぱり活用の度合いが高いということが立証されておりますので、今後、これについても精力的に記載していきたいと思っています。よろしくをお願いします。

○新庄議長 ありがとうございます。

ご出席の議員の笹川議員、何かご要点、よろしくお願ひいたします。

○笹川議員 どうもありがとうございます、いろいろご意見を聞かせていただきまして。ちょっと議会対応のほうで遅れてしまって、申しわけございませんでした。

本当に今回、地震から始まり台風等、災害が起こりまして、お亡くなりになった方もいる中で、こういうのはちょっと語弊があるかもしれないですけども、本当に大きな大規模ではなかったということで、いろいろな課題が見えてきたと思っています。そういった課題を一つ一つクリアしていかなあかんのですけれども、大きくは、ちょっと価値観を変えていかなあかんかなと思うところは、当たり前にある電気が、今、世の中のインフラのほとんどだということ、水道すら電気だとまるというのは、今回初めて感じたことでしたので、そしてツイッターとスマホは1日しかもたないと。要は、スマホの電源が1日で切れると、実はうちのある地域で、町会長さんの携帯電話が1日で切れて、次の日からつながらなかったんです。こういうことが、何か想定していたんですけども、想定が僕らは当たり前過ぎて、もしかしたら、本当はもっとアナログのほうで災害対応力というのは強いかもしれないなというようなことも感じましたし、もう一つは、地域のつながりは非常に大事なんですけども、地域に住んではる以外の方が、常日ごろからこの東淀川区にいらっしゃるということもすごく大事なことで、例えば地震のときに、東淀川は淡路も上新庄も物すごい人が駅から追い出されて、滞留したんですが、そのすぐそばにある小学校が避難所として開設しているものの、誘導がないがために、休憩もされずに、道端の地べたに座っていると、こういった何か起こってみなわからなかったことというのが非常にありましたので。実は地域というのは、防災はちょっと難しいですね。災害の対応力になってくると思うんですけども、そのときの対応力というのは、地域のつながり以上にもっと大事な、先ほどおっしゃった、人とのつながりっていうようなことを高められることを常日ごろから地域でやるのが一番重要なことなのかなというふうに感じましたので、ぜひこのあたりもお力添えを今後も賜われればと思いますので、よろしく願いいたします。どうもありがとうございます。

○新庄議長 ありがとうございます。

今回、原案ということで、今後も3月の完成までの期間、修正を行っていくということです。今後も引き続き区政会議で意見交換していただきたいと思います。

続きまして、議題3、今後の区政会議について、区役所からご説明よろしく申し上げます。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山でございます。

送付資料3の23ページを開いていただけますでしょうか。区政会議のスケジュールです。

第3回部会につきましては、昨日から教育・子育て部会、本日の魅力あるまちをつくろう！部会、27日に安全・安心部会、28日に健康・福祉部会と開催してまいります。

第2回の本会といたしまして、10月31日、7時から9時ということで、これにつきましては、区民ホールで平成31年度の東淀川区の運営方針の素案、防災等について、共通テーマというこ

とでご議論願うこととなります。

第4回部会は2月の予定なのですが、これにつきましては、今後の本会も含めた日程の関係で、また決まってくるかと思えます。

あと、第5回の部会、今後の調整となってございます。しかしながら、この日にちの部分、3月19日の火曜日、7時から8時ということと、次の第3回の本会、3月19日、午後8時から9時という部分については押さえていただきたいなと思っております。

内容につきましては、また後日、調整することになるかと思えますので、よろしく願います。

あと、議長・副議長会ですが、10月29日の月曜日、本会前ということで、午後7時から9時、304会議室で開催いたします。これについては、本会と各部会状況の共有ということで議論願うわけですが、これにつきまして、他の委員の方もぜひとも来てもらいたいというご意見もございまして、自由参加ということで、議長・副議長以外でも参加願えたらと思っております。

私からは以上でございます。

それと、あと本日の配付資料で、黄色い資料がございまして、先ほど申しました共通テーマとして本会で議論願う中身でございまして、これにつきまして、記入いただいて、郵送、いずれかの方法でご提出いただきますよう、よろしく願います。申しわけございません。10月12日金曜日までにご提出をお願いいたします。それまでに区役所に来られる際に、ついでに総合企画部の窓口で提出いただいても結構ですし、郵送でということであれば、返信用の封筒もお渡ししますので、よろしく願います。本会では、これをもとに議論していくという形になりますので、よろしく願います。

○新庄議長 本日の本会での議事は以上になります。

今後も平成31年度運営方針の策定に向けて、各部会において意見交換してまいりたいと思えます。皆様、ありがとうございました。

ここからは進行を事務局、お願いいたします。

○池辺係長 参加委員の皆様、ありがとうございました。

毎回ご案内しておりますが、委員の皆様につきましては、本日の会議の議事録内容を各地域活動協議会や所属の団体等でご説明いただきまして、各地域等からの意見をまたこの区政会議にフィードバックしていただきますよう、よろしく願います。

これをもちまして、平成30年度第3回の区政会議、魅力あるまちをつくろう！部会を閉会いたします。皆さん、ありがとうございました。